



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2023年(令和5年)9月度 理事会 議事録

【日時】 2023年9月16日(土) 9:00 開始 - 11:00 終了

【場所】 Mixer 水道橋、Zoom

【出席者】(理事)(Mixer)西久保、稲葉、(Zoom)竹政、佐藤、古谷、柳、村田
(監事)(Zoom)土屋、泉山
(欠席)浅田理事

【審議事項】

1. 会員数推移 (会員: 佐藤)Shiryō -S01

7月度理事会後 PE187名 PES1名 PEN53名 FE42名 AF18名 ST6名 合計307名
9月度理事会後 PE190名 PES1名 PEN51名 FE43名 AF17名 ST6名 合計308名

-> 監事より第1四半期が過ぎたので会員部会にて年会費納入状況を理事へ報告することが求められた。

2. JSPE Day(教育部会: 稲葉)

11月18日(土)に関西でJSPE Dayを予定している。会場および講師3名は押さえている。映像・音声の設定を行える会場の運営がおらず、関東から派遣となる(交通費が発生する)可能性がある。

11月25日(土)の関東分は、門前仲町の会場を予約した。セミナー後、Year End Partyを予定しているが、関東・関西ともに人数の見通しが立たず、貸切最低人数(20名程度)として予約して、最低人数を下回った分はその分を保証するやり方となる。

-> 関西への派遣候補者は現理事もしくは前理事を予定しており調整中であることが報告され、上記の内容で承認された。

3. 外郭放水路(埼玉県)の見学(教育部会: 稲葉)

会員から本設備の提案を受け、以下の要領で進めていく。

・本設備は、一般向けに見学コースを設けており、これにJSPEとして申し込む。申し込みは催行日1か月前からで、枠を埋めることができそうな5名分抑える。コースにもよるが参加費は3,000~4,000円となる。

・JSPE内で会員向けに募集を行い、参加費を実費で徴収する。

・提案してくれた会員にて、当日の引率(集合時の点呼)とCPD証の配布は受けてくれるので、その点は依頼。

・実施報告は、今年度予算の中で「技術レポート」というもので1件3,000円で計上されており、それを使い、希望者を応募する。該当は土木、分量はA4で1~2枚、構成は施設紹介、技術者としての特記、所感。施設側からは、常識的な範囲であれば、特に許可や制限はなく、希望があれば、内容チェックするというもの。

・キャンセル受付は3日前までで、枠が埋まらない場合はキャンセルする。

->理事会にて以下 質疑がなされた。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- 参加者は土木に絞る必要はなく、会員全員に広く募るべきではないか？→ 興味のありそうな参加者として土木関係の会員としているが、分野を問わず会員全員に募る。
- 参加費の支払い先は見学先の首都圏外郭放水路か？また参加費に幅がある理由は？ → 参加費は見学先に払うものであり、申し込むコースにより変わるため、コースが決まっていないため幅がある。
- 本見学は、理事負担軽減のため理事が JSPE が主導するのではなく、会員が有志で集まってレポートを出すという形で CPD 証を出すのもいいのではないか。→ 通常の JSPE 主催の見学会とは違う形態であるが、本見学会は会員からの提案であり、提案会員が当日の JSPE の役割を担ってくれるという意味で理事の負担は軽減されている。
- 見学での説明内容は一般参加者向けのレベルになるのか、それとも PE として参考となるような専門家向けの説明なのか → 一般参加者向けとなる。専門的な内容は質疑応答になるが、十分な回答を得られるかは先方の知識レベルに依る。
- JSPE の催行見学会として、そのような一般参加者向けの訪問先でいいのか、他の訪問先はないのか？
⇒ 他の訪問先の計画はあるが、今回の企画は会員からの提案であるので審議事項としてあげている。
- 一般参加者向けの説明になるのであれば、先方に先にこういった専門的な内容を挙げていただくよう依頼できないか？⇒ JSPE 主催の見学会として、必ずしも専門的な濃い内容ものだけにする必要はなく、会員が他の分野を知るという意味で一般的な内容の説明であって有益であると考える。

→ 本案件はそのまま進めることで承認された。また、今後も JSPE 理事会として会員からの見学会提案について積極的に協力することが確認された。

4. セミナー実績(教育部会:稲葉)

前回理事会から以下のセミナーを行った。

- ・7月5日 第2回エンジニアズサロン
- ・7月16日 第1回英語セミナー
- ・7月19日 第3回エンジニアズサロン
- ・9月2日 第355回鬼金 CPD セミナー

セミナー全般について、かねてから会場設置の声が上がっており、これに応える形で会場を設けた。参加者は20名いたが、会場参加者は4名であった。講師の方にワンコイン懇親会も打診していたが、キャンセルした。思ったより需要がなく、現在会場を予約している9月30日の鬼金セミナーの様子を見て、今後の運営方法を判断する。

→ 上記審議事項は承認された。

→ 各種セミナーのあり方について理事・監事で意見交換がなされた。

- セミナーの開催方式について。

- オンラインは会員の所在地制約がないので場所を問わないので、多くの参加者が期待できるし実績も示している。ただ、会員交流という意味では、対面での会場設置のケースがいい。大きいイベントに限り会場設置としてもいいのではないか。
- 究極的には会員の意見を尊重。
- 会場設置の場合、会場を抑える手間がある。抑えた会場を人数が集まらないからといってキャン



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

セルすることが続けば JSPE がブラックリストに乗り今後の開催に支障が出るとことも想定される。

- 鬼金セミナーの講師手配について。
 - 総会の際に話題になった鬼金の講師の不足は解決されたか？⇒ PMIJ 派遣講師, JSPE 会員からの講師で解決されつつある。
 - PMIJ 派遣講師は IT 業界の Project Management をバックグラウンドとした人が多い。JSPE 会員の多くが関連する業界の Project Management にフィットしないと感ずるところがある。
 - 9/2 PMIJ 派遣講師の話が自分の仕事と関連性が薄いと感ずた。⇒ PMIJ 派遣講師は数年前から呼んでみようという話があり、新型コロナによりなかなか呼べなかった。今回は初めての試みとなる。
 - 「PMBOK に乗っ取った講義内容」となると講師のハードルが上がると感ずる。実際の PM 経験を語る、といった内容はどうか？⇒ 最近 PMBOK の内容について論じるというよりは、自分の経験談を語る人が多い。そういった内容で講師を声かけしても応じてくれるのは 6-7 人中 1 人くらい。
- 各種セミナーの位置付けと講師の難易度及び会員の自主性について
 - セミナー: 講師としてのハードルが一番高い。専門家・権威者が何かを教えるという色合いが強い。一方で権威者を持ってくると話が一般化されてつまらなくなる可能性が高い。CPD のために参加という色合いが強まる。
サロン: 何かを教える色合いが薄まりセミナーより講師のハードルは下がる。
勉強会: 講師のハードルが一番低く、参加者が全員知らないこと学あう。自分で勉強するという意味で自主性が高い。
 - JSPE の名刺を使うことで、個人の名刺では種々制約により話を聞けない人を呼ぶことができるようになる。セミナー講師はもっと広げて探してみるべき。
- 各種セミナー参加費について
 - 現在 JSPE 会員であれば、多くのセミナーが無料で受けられるようになっている。今後セミナー参加者が増えていくことを前提とすると、JSPE の予算が足りなくなり維持できなくなる可能性がある。参加費無料を変えていくことを考える必要があるのではないか。

【報告事項】

1. NSPECON2023 参加報告(渉外:西久保)

詳細は JSPE マガジン秋号に掲載。

来年の JSPE 総会へ NSPE 新会長の参加を快諾いただいたので、NSPE 新会長の来日予定に合わせて 6/8(土)を JSPE 総会日程としたいことが報告された。NSPECON2023 の報告会は JSPE Day もしくは別セミナーで実施することが確認された。

2. E20 summit 参加報告(渉外:西久保)

詳細は JSPE マガジン秋号に掲載。JSPE してオンラインで参加したことが報告された。

3. HP 改定進捗状況の共有(広報:西久保)

HP 改定がほぼ終わり、予定していた機能が実装されること、近々理事向けに公開予定ページを共有しテストを依頼することが報告された。

4. マガジン秋号の内容共有(広報:佐藤)

マガジン編集予定と 10/1 の公開日が報告された。

5. 第 1 四半期の予実比較(会計部会:稲葉).....Shiryo -H05

予実結果が提示された。

特記として、

・ホームページ改修費用で、かなりの超過が出ている。

・セミナー広告を毎回行っているが、それを見て参加した人がいないため、行わなくてよいと言える。

6. その他

・監事より再度、理事会資料は事前に FTP サーバーへ格納することが求められた。また資料は理事会前に担当者以外でダブルチェックをかけること提言された。

・古谷理事より教育部会セミナーについて、定型化された機械的作業が多く、マニュアル化した上で外



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会
部委託することが提案された。理事会としては、理事負担軽減のための予算枠を確保しているため、
今年度は予算の範囲内で外部委託をトライしていただいて構わないという結論になった。

【次回理事会予定】 2023年11月5日(日) 9:00～

【議事承認印】

| | |
|----|------------------|
| 承認 | 2023/9/24 西久保 東功 |
| 承認 | 2023/9/24 古谷 茂也 |
| 承認 | 2023/9/18 稲葉 光亮 |
| 書記 | 2023/9/17 佐藤 寿和 |